

②9 明るい未来への一歩 女性の健康づくり 施策の促進を！ 横浜市会議員 市来えみこ



いちき
市来えみこ

横浜市泉区生まれ(57歳)
 青山学院大卒業/カルフォルニア州立大学
 大学院言語学部修了/米国パラーガル
 家族:娘、両親、愛犬

☎ 070-9053-1968

✉ ichiki.emiko.yokohama@gmail.com

都筑区中川中央1-22-5 #402

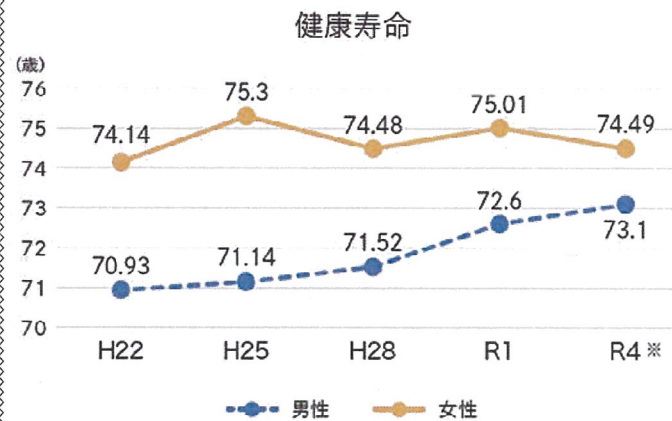
女性の平均寿命は男性 質疑に登壇し、本課題に
 より長い一方で、「介護 ついて取り上げました。
 を要さず自立して生活で 厚生労働省のデータか
 きる期間」、いわゆる ら本市が算出した「健康
 「健康寿命」は、男性よ 寿命」は、男性が201
 り伸び率が少ないと言わ 0年から着実に改善して
 れています。 いるのに対し、女性は改

私は今月2日に開催さ 善が見られません。特に
 れた令和8年第1回市会 2019年と2022年
 定例会で、健康福祉局の のデータでは、男性は

0・50年延びたのに対 娠・出産などのライフス
 し、女性は0・52年短く テージに応じた健康課題
 なっています。 があり、特に、働き・子

女性の健康寿命が短縮 育て世代の女性は健康管
 している要因としては、 理が重要になります。し
 生物学的、社会的な要因 かし、女性は仕事と家事
 に加え、疾患構造の違い に加え、子育て、介護な
 や医療研究の歴史的偏り ど多重な役割を担う人が
 など複合的であると考え 多く、家族のケアを最優
 ます。 先し、自身の健康管理を

生物学的要因には、女 後回しにしがちです。
 性ホルモンの影響や、妊 すべての世代の女性



が、いつまでも自分らし
 く、いきいきと活躍でき
 るよう、まずは、働く女
 性が増加していることも
 踏まえ、取り巻く環境や
 実態を正確に把握し、現
 状分析や職場における実
 態調査を含めた、効果的
 な取組と施策の推進を強
 く要望しました。